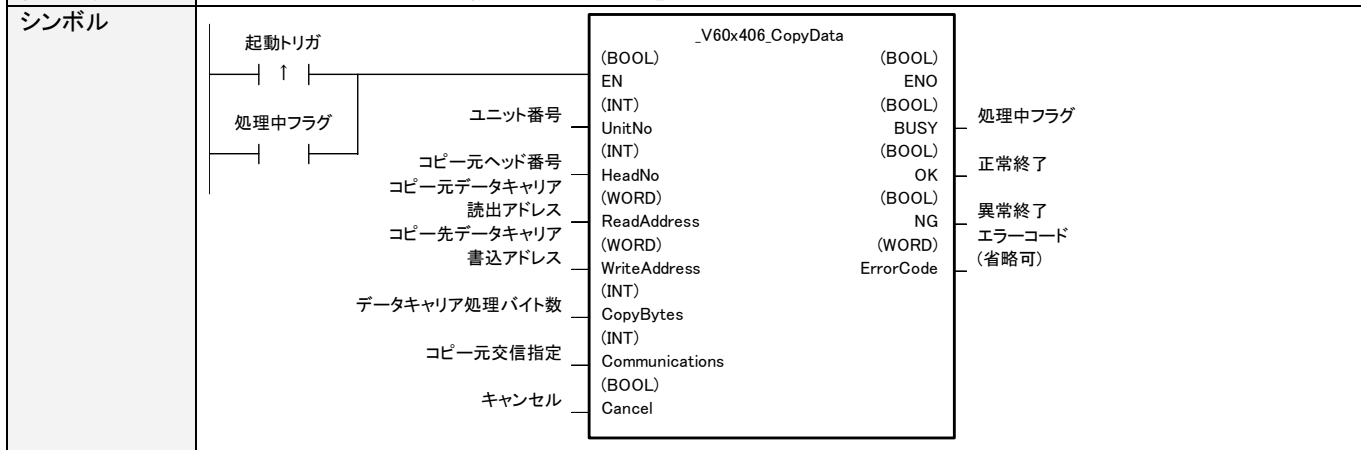


V60x 406 データキャリアのコピー _V60x406_CopyData

機能概要 一方のデータキャリアから読み出したデータを他方のデータキャリアに書き込みます。



ファイル名 Lib\FBL\omronlib\RFID\V600_V60x406_CopyData10.cxf

対象形式	ID センサユニット	形CS1W-V600C12, CJ1W-V600C12
	CPU ユニット	CS1*-CPU**H ユニットバージョン 3.0 以上 CJ1*-CPU**H ユニットバージョン 3.0 以上 CJ1M-CPU** ユニットバージョン 3.0 以上 CP1H
	CX-Programmer	バージョン 5.0 以上

使用言語 ラダー言語

使用条件

■CX-Programmer の設定

ID センサユニット関連 FB は、ファンクションブロックのアドレス割付にて保持以外のエリアが H512 以降(初期値設定)では動作しません。必ず CX-Programmer にて本値を、使用していないエリア(例えば DM や EM)に変更してください。本値はメニューバーから[PC]-[ファンクションブロックメモリ]-[ファンクションブロックアドレス割付]から変更ができます。

使用していないエリアを指定してください。
必要なサイズは、使用する FB の種類や数によって異なります。
既にラダープログラム上で使用しているエリアを指定した場合や容量が足りない場合は、CX-Programmer がコンパイル時にエラーを表示します。

例えば、
D32020 から D32767 の 748CH 分を
使用する場合は
左記のように指定します。

■ID センサユニットの状態

ID センサユニットがビジー中の場合は NG フラグを ON し、本 FB の機能を実行しません。

機能説明 「ユニット番号」・「ヘッド番号」で指定したコピー元データキャリアの指定エリアのデータを、他方のデータキャリアの指定エリアに書き込みます。

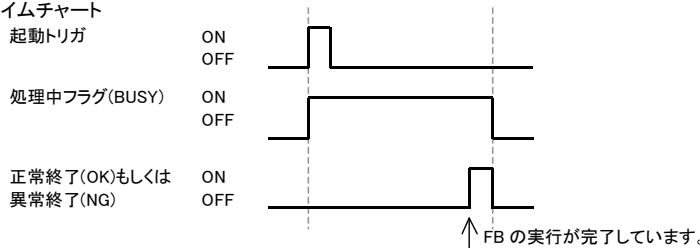
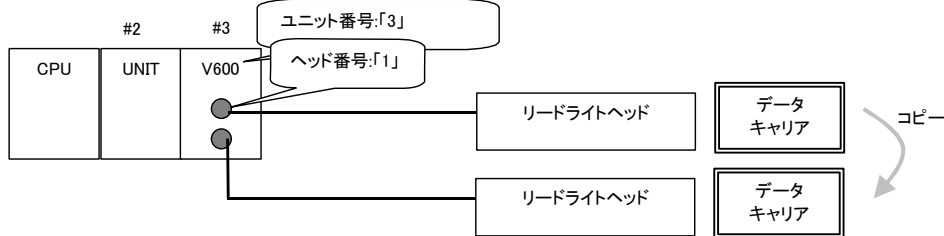
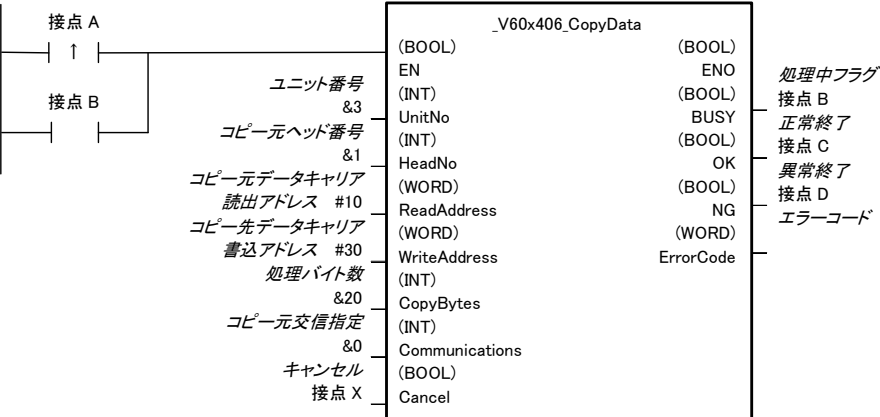
■IDセンサユニットの注意点

詳細は「IDセンサユニット ユーザーズマニュアル」(SCLB-707)の6-2.通信コマンド「(10)コピー」を参照してください。

- ・ライト時ベリファイなし設定の場合には、ベリファイ処理を行いません。
- ・コピー先の更新方法は「トリガ」となります。
- ・コピー先のヘッドで何らかのエラーが発生した場合は、エラー情報の状態フラグが ON します。

FB 定義の種類 複数サイクル実行型

本 FB は起動後、複数サイクルにまたがって処理を行います。
内部で状態を保持するため、同じインスタンスを複数箇所ですべて同時に使用することはできません。

<p>FB 使用上の注意 注意点</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本 FB は数サイクルにまたがって処理を行います。出力変数 BUSY によって、処理が実行中か否かを確認できます。 処理を終えると、OK または NG が 1 サイクルだけ ON します。これらのフラグを参照して、FB の処理完了を検知してください。 <p>■タイムチャート</p> 																		
<p>EN の入力条件</p>	<p>上図のように「起動トリガ」の立ち上がりと FB の出力である BUSY の論理和を EN に接続させます。</p>																		
<p>制限事項 入力変数</p>	<ul style="list-style-type: none"> EN への入力には必ず立ち上がり微分(↑)を使用してください。 入力変数の値が範囲外の場合、ENO を OFF、NG フラグを ON し、FB の内容は実行しません。 コピー元・コピー先共に、処理アドレスおよび処理バイト数はデータキャリアのメモリ容量を確認して指定してください。処理アドレスおよび処理バイト数が交信するデータキャリアのメモリ容量と合わない場合には、アドレスエラーを出力します。 																		
<p>出力変数</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本処理は、複数サイクルに渡って実行する必要があるため、処理完了まで実行されるように、出力変数 BUSY を、入力変数 EN への入力条件の OR 回路に、必ず挿入してください(「シンボル」の項参照)。 出力変数 BUSY を FB 外で ON/OFF しないでください。 																		
<p>使用例</p>	<p>接点 A を ON すると、ユニット番号 3 の ID センサユニットのヘッド 1 に繋がったデータキャリアのアドレス 10(Hex)から 20 バイト分のデータを、ヘッド 2 に繋がったデータキャリアのアドレス 30(Hex)にコピーします。</p>   <table border="1" data-bbox="726 1164 1093 1579"> <thead> <tr> <th colspan="2">_V60x406_CopyData</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(BOOL) EN</td> <td>(BOOL) ENO 処理中フラグ</td> </tr> <tr> <td>(INT) UnitNo</td> <td>(BOOL) BUSY 接点 B</td> </tr> <tr> <td>(INT) HeadNo</td> <td>(BOOL) OK 正常終了</td> </tr> <tr> <td>(WORD) ReadAddress</td> <td>(BOOL) NG 異常終了</td> </tr> <tr> <td>(WORD) WriteAddress</td> <td>(WORD) ErrorCode 接点 D</td> </tr> <tr> <td>(INT) CopyBytes</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(INT) Communications</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(BOOL) Cancel</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>接点 A: ↑</p> <p>接点 B: ↓</p> <p>接点 C: ↓</p> <p>接点 D: ↓</p> <p>キャンセル 接点 X: ↓</p> <p>ユニット番号: &3</p> <p>コピー元ヘッド番号: &1</p> <p>コピー元データキャリア 読出アドレス #10</p> <p>コピー先データキャリア 書込アドレス #30</p> <p>処理バイト数 &20</p> <p>コピー元交信指定 &0</p>	_V60x406_CopyData		(BOOL) EN	(BOOL) ENO 処理中フラグ	(INT) UnitNo	(BOOL) BUSY 接点 B	(INT) HeadNo	(BOOL) OK 正常終了	(WORD) ReadAddress	(BOOL) NG 異常終了	(WORD) WriteAddress	(WORD) ErrorCode 接点 D	(INT) CopyBytes		(INT) Communications		(BOOL) Cancel	
_V60x406_CopyData																			
(BOOL) EN	(BOOL) ENO 処理中フラグ																		
(INT) UnitNo	(BOOL) BUSY 接点 B																		
(INT) HeadNo	(BOOL) OK 正常終了																		
(WORD) ReadAddress	(BOOL) NG 異常終了																		
(WORD) WriteAddress	(WORD) ErrorCode 接点 D																		
(INT) CopyBytes																			
(INT) Communications																			
(BOOL) Cancel																			
<p>関連マニュアル</p>	<p>「ID センサユニット ユーザーズマニュアル」(SCLB-707)</p> <p>4-3. 入出力データの割付「異常コード一覧」</p> <p>6-2. 交信コマンド「(10)コピー」</p>																		

■変数テーブル

【INPUT】(入力変数)

名称(和文)	変数名	データ型	初期値	有効範囲	説明
EN	EN	BOOL			1(ON): FB を起動する 0(OFF): FB を起動しない
ユニット番号	UnitNo	INT	&0	&0~&95	
コピー元ヘッド番号	HeadNo	INT	&1	&1~&2	&1: ヘッド 1 &2: ヘッド 2
コピー元データキャリア 読み出しアドレス	ReadAddress	INT	#0		データキャリアのアドレスを指定します。
コピー先データキャリア 書き込みアドレス	WriteAddress	INT	&0		データキャリアのアドレスを指定します。
処理バイト数	CopyBytes	INT	&0	&0~&2048	&0 のとき何もせずに正常終了する
コピー元交信指定	Communications	INT	&0	&0~&1	&0: トリガ &1: オート コピー先は「トリガ」となります。
キャンセル	Cancel	BOOL	0(OFF)		0→1: 実行を打ち切ります。

【OUTPUT】(出力変数)

名称(和文)	変数名	データ型	有効範囲	説明
ENO (省略可)	ENO	BOOL		1(ON): FB が正常に動作した 0(OFF): FB は起動していない/FB が異常終了した
処理中フラグ	BUSY	BOOL		処理完了後、自動的に OFF します
正常終了	OK	BOOL		正常終了時 1 サイクルだけ ON します
異常終了	NG	BOOL		異常終了時 1 サイクルだけ ON します
エラーコード (省略可)	ErrorCode	WORD		ID センサの結果情報を出力します。 詳細は「関連マニュアル」に記載されたマニュアルを参照してください。 #0070: データキャリア通信異常 #0071: ベリファイ異常 #0072: データキャリア不在異常 #0076: 状態フラグ #007A: データキャリアアドレス異常 #007B: 電池寿命ワーニング #007C: ヘッド異常 #007D: プロテクト異常 #FFFF: 入力パラメータの異常

■バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
1.00	2004.6.	新規作成